

ワカメ刈取り機の開発状況について

ね ら い：ワカメ養殖生産量の維持増大を図るため、養殖操業の省力化機器を開発する。

成果の特徴： 1 13 年度にはワカメ養殖協業作業船(大型船)用刈取り機を開発した。

刈取り機は、協業作業船の前甲板の左舷ブルワークに取り付けられたアーム状の支柱からつり下げて固定するようにした。

ワカメの刈取りは、養殖網を船首のガイドローラに乗せ、刈取り機上を通過させて船尾のドラムで巻き取りながら、刈取り機の駆動によって行なうようにした。

作動試験の結果では、養殖網 100m 当たり、0.5 時間で刈取りが可能と考えられた。

2 14 年度は、船外機船(小型船)用の刈取り機の開発に取り組んでいる。

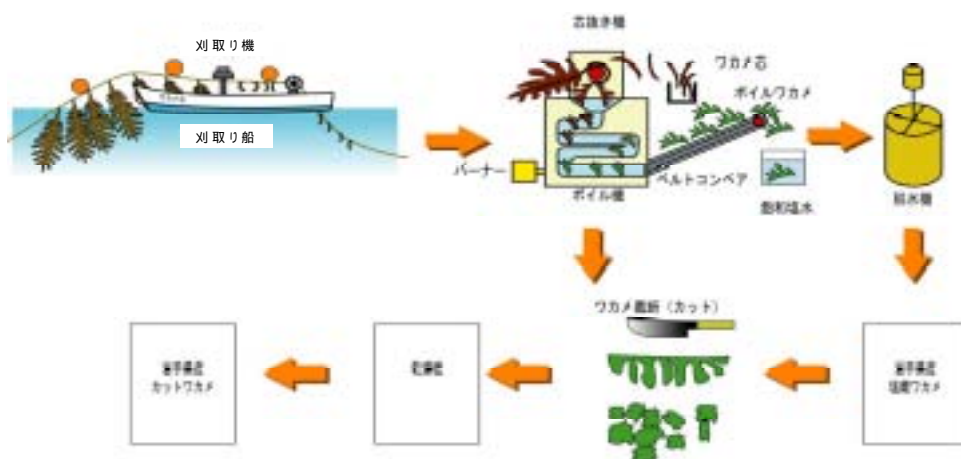
本開発は、(独)水産工学研究所が行っている養殖ワカメの刈取りからボイル塩蔵までの一貫した「ワカメ自動刈取り機及び塩蔵ボイルワカメ自動製造装置の開発」との共同開発として実施している。

船外機船用刈取り機は、大型船用のそれと比べ安全性や操作性の向上、さらに、刈取ったワカメの方向を揃える機能をもたせることとしている。

養殖施設の形態が多様であるため、汎用性が必要となっている。

成果の活用面：水産工学研究所が開発を進めている塩蔵ボイルワカメ自動製造装置と相まって、ボイル塩蔵ワカメを生産している養殖業者の総投下労働時間の約 80%を占める刈取りからボイル塩蔵工程の省力化が期待される。

新塩蔵ワカメ生産システム



担当者	増養殖部 増養殖部長 井ノ口伸幸	0193-26-7917	FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号		
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/		